

超低コスト高精度RTK GNSS測位技術の動向

2016年12月20日(火) 13:00 ~ 16:50

東京大学農学部 弥生講堂一条ホール 東京都文京区弥生1-1-1
最寄り駅 東京メトロ南北線 東大前駅

数センチメートルという精度で位置を検出できるRTK-GNSSは、屋外で作業する農作業車両の自動走行に必須の技術となってきました。近年、従来の2周波RTK-GNSSと比較して大幅に低コスト化されたRTK-GNSS受信システムが実用化され、また市販されています。これにより、これまでコスト面の問題からRTK技術が使えなかった様々な農業機械や屋外作業機械への応用が促進されると予想されます。

本セミナーでは、高精度衛星測位の専門家の皆様に、これらの技術の現状と応用、そして今後の展望を解説いただくことを目的としています。また、総合討論や、情報交換会の機会を設け、講師の皆様と、参加者の交流を深めていただきたいと思います。

13:00 - 13:05 **開会の挨拶**

13:05 - 13:35 「オープンソースRTKソフトウェアRTKLIBの開発と応用」
東京海洋大学 高須知二氏

13:40 - 14:10 「高精度RTK測位モジュールNEO-M8P」
ユーブックスジャパン株式会社 奥田信一氏

14:15 - 14:30 **休憩**

14:30 - 15:00 「1周波RTKとタフパッドを使った除雪機のナビゲーション」
パナソニック株式会社 西谷裕之氏

15:05 - 15:35 「スマホを使った農業トラクタの自動ナビゲーション」
農業情報設計社 濱田安之氏

15:40 - 16:10 「ドローンや小型屋外ロボットへのRTKの応用」
東京大学 海津裕氏

16:20 - 16:50 **総合討論**

17:15 - **情報交換会 弥生キャンパス内 アブルボア**

参加費：正会員3,000円、会員外4,000円(体験入会1,000円を含む)、学生1000円
参加申込み：[農業食料工学会イベント申込みサイト](#)、当日受付可
情報交換会参加費：5,000円

